

令和7年度第2回函館市男女共同参画審議会会議録	
開催日時	令和7年8月27日 水曜日 18時00分から
開催場所	函館市役所 8階大会議室
議 題	議事 (1) 令和6年度「はこだて輝きプラン」施策の推進状況について (2) 令和6年度男女共同参画に関する苦情処理状況について (3) 令和7年度男女共同参画に関する施策の概要について (4) ジェンダーギャップ解消プロジェクト の取組みについて (5) 次期「はこだて輝きプラン」 の方向性等について
出席委員	池田会長，木村副会長，石川委員，塗委員，荒木委員，海原委員，佐々木委員，大宮委員，水島委員 (計9名)
欠席委員	成田委員，服部委員，中村委員
傍聴者	0名 (報道機関1社)
事務局	柏市民部長，東出市民部次長，増輪市民・男女共同参画課長，市民・男女共同参画課 關主査，三上主査，工藤主事
会 議 内 容	
1 開会	
会議成立の報告	
事務局	条例施行規則第12条第7項の規定により会議が成立していることを報告した。
2 議事	
(1) 令和6年度「はこだて輝きプラン」施策の推進状況について (2) 令和6年度男女共同参画に関する苦情処理状況について	
池田会長	それでは議事(1) 令和6年度「はこだて輝きプラン」施策の推進状況について(2) 令和6年度男女共同参画に関する苦情処理状況について，関連性があるので，続けて事務局から説明をお願いします。
事務局	《資料1，資料2について説明》
池田会長	今の説明について何か質問等はあるか。
荒木委員	26ページの学童保育の利用児童数について，平成28年から10年経っていないが増加しており，令和5年から6年にも150人ぐらい増加している。この学童を利用する児童が増えるということは，共働き家庭が増えたということなので，女性が働くようになったのかなと思うが，その学童保育の定員が溢れたりしていないかと心配に思う。そのあたりに何かデータはあるか。
事務局	学童保育の定員に関して，お察しのとおり子どもの数はどんどん減少しているが，共働き家庭の増加により学童保育のニーズは高まっており，この数字のとおり年々上昇している状況にある。担当の子ども未来部においては，定員が充足されて

	もさらに、ニーズが多い状況であり、クラスを増やすなどしてそのニーズに対応している。また、子どもの居場所として、児童館を利用していただいたり、様々な子どもの居場所づくりも行っており、学童の定員に関しては今のところ少し溢れている校区もあるが、なんとか運営をできているという状況である。
池田会長	イトーヨーカドーの後にオープンしたグランディールイチイにも子どもたちの居場所が設置されるなど、居場所づくりも徐々に進んできている印象を持っている。
(3) 令和7年度男女共同参画に関する施策の概要について	
池田会長	それでは、次に(3) 令和7年度男女共同参画に関する施策について事務局から説明をお願いする。
事務局	《資料3 について説明》
池田会長	今の説明に対して質問等はあるか。
	(特になし)
(4) ジェンダーギャップ解消プロジェクト の取り組みについて	
池田会長	それでは、次に(4) ジェンダーギャップ解消プロジェクトの取り組みについて事務局から説明をお願いする。
事務局	《資料4 について説明》
池田会長	ある会合の記録で、市長と厚生院の理事長の対談を見たが、今の説明と同じことを言っており、20代の女性の市外への転出超過が大きい。そこで人材確保をどうするかということだが、実際にうちの生徒も、市内でも資格を取ることにはできるが、卒業後は札幌や東京などに出ていって帰ってこない。都会に行くと、娯楽がたくさんあり、物価も高いだろうが、賃金も高い。函館には、若者が働きたいと思う職場が少ないのではないか。
木村副会長	本学も、もともと地元の学生が少ないという面もあるが、卒業後、函館に残る学生は少ない。学生によると、多様な職場がないという声があり、職場も含め、いろいろなものがある場所に行くという事が合理的な選択になっているのかと思う。 プロジェクトの中で、産・官・学の連携で課題を吸い上げ、取り組んでいくという部分に期待しており、ワークショップなどにおいて声を拾い上げながら対策を取っていくことは非常に重要だと感じている。
荒木委員	かつて日本創生会議による消滅可能性都市の発表から若い女性の転出を止めなければということ、男女共同参画にも関連があることから注目度が上がってきていると感じている。 資料4の1 ページにある男女別年齢階級別純移動数の表について、「10－14歳→15－19歳」とあるが、15歳から19歳の方達がどれだけ減っているかという解釈で良いか。

事務局	そのとおりである。10歳から14歳の方が5年後に15歳から19歳になるが、その時の増減を示している。
荒木委員	これは何歳の時に減っているかということではなく、その層の方たちが5年後にどうなっているかということを表しているということか。
事務局	国勢調査の結果をもとにしており、5年ごとのデータを使用している。
荒木委員	赤字のところも、20歳から24歳だった女性、あるいは25歳から29歳だった方が5年後にいないという人数が増えて男女逆転しているということが書かれている。女性が20代前半ぐらいで大きく減っているということか。
事務局	そのとおりである。
池田会長	私も木村副会長もだが、ワークショップで参加者からこういった意見が出るのか、それをどのように政策に生かしていくのか大いに期待している。 では、他になにかあるか。
	(特になし)
(5) 次期「はこだて輝きプラン」の方向性等について	
池田会長	それでは、次に(5)次期「はこだて輝きプラン」の方向性等について事務局から説明をお願いします。
事務局	《資料5、資料6について説明》
池田会長	今の説明について何か質問があるか。
大宮委員	北海道の計画も、函館市と同様、平成30年から令和9年度までとしており、具体的な取り組み内容は、5年ごとに見直しを行っている。また、国においては、現在第6次の計画に向け、有識者を集めてワーキンググループで検討しているところである。北海道においては、国の議論を踏まえて見直されていくと思うが、まだこれからという段階である。 資料6の意識調査について、前回の回収率は40%位であるが、通常この位の数字となるのか、もっと回収率を上げるような考えがあるのか教えていただきたい。
事務局	回収率については約40%であるが、市で実施しているアンケート調査の中では割と高い方ではないかと感じている。やはり、1件でも多くの声が必要と考えているため、郵送での回答の勧奨を行うなど、多くの声を集めたいと考えている。
池田会長	無作為抽出だが、市民2,000人を年代別に何人とか決まっていたと思う。それによっても回答の内容が変わってくると感じている。
事務局	抽出の対象者については、一定のルールを決めて抽出している。

池田会長	例えば、学校を通じて配付・回収を行うことができれば、回収率を上げられるのではないかな。
事務局	今のご意見も含めて検討したい。
木村副会長	資料6の1枚目、基本的な属性を聞いている部分について、事実婚も含め、パートナーの就労状況を聞いているが、就労状況だけではなく、正規雇用か非正規雇用かの雇用の形態を聞くと、市の構造が立体的に見えてくるのではないかな。
事務局	今のご意見についても検討したい。
水島委員	資料6の1枚目の裏側、226ページの記載についてであるが、「F6」で勤め人と回答した方の選択肢が「1 役員、2 正規の職員・従業員、3 非正規の職員・従業員」とあるが、これに加え、「管理職」の項目があれば良いのと、企業規模も関連があると思うので、加えた方が良いと思う。 また、227ページの男女共同参画に関する言葉を聞いたことがあるかについて問う項目について、聞いたことの有無だけではなく、興味があるかどうかについても聞いても良いのではないかな。
事務局	継続性がある調査であり、これまでとの比較に影響が出ないように留意しながら、いただいたご意見を踏まえ、改善できるよう検討してまいりたい。
塗委員	職業を聞いているが、社会では給料をもらっていないが社会に貢献している方が多くいらっしゃる。特に女性に多いのではないかなと思うが、赤十字や町会など、多くの時間を割いて活動されている方もいるので、そういった方々の分類を聞いても良いのではないかな。
事務局	今のご意見についても検討したい。
池田会長	石川委員に確認だが、PTAの役員に依頼するなど、学校としてアンケートの依頼をすることなどは可能かな。
石川委員	一学校職員として全市的な学校の取組みについてお答えするのは難しいが、学校では、1人1台端末を配布しており、そういったものを活用することで取り組みやすいということで学校に案内・依頼が来ることもあるが、学校としても様々なことを抱えており、現場として協力したいと考えている職員も多いと思うが、実施については市教委と相談していただければと思う。
池田会長	確かに、いろいろなアンケートや文書の配付依頼があるので、大変かもしれない。
荒木委員	意識調査については、無作為抽出であることに意味があるので、学校などに依頼して調査票を集めると、その部分だけ過大になってしまう恐れがあるのではないかなと感じている。

池田会長	他に意見はあるか。
	(特になし)
池田会長	様々な意見が出ましたので、これを参考にして内容の検討を事務局に一任するという事でよろしいか。
	(異議なし)
池田会長	では、内容の検討を事務局に一任することとで決議したい。
3 その他	
池田会長	次第3 その他について、事務局からなにかあるか。
事務局	《机上配付資料 函館駅前東地区市街地再開発事業の進捗状況について》に基づき説明
事務局	次回の審議会の開催予定は来年の5月頃を予定している。 現委員の任期は9月30日までとなっており、現在、各団体に改めて推薦をお願いすることとしている。また、併せて公募も実施することとしている。 そのほか、今後開催するイベントのチラシを配付しているので、よろしくお願いしたい。
池田会長	他にないか。
佐々木委員	12月20日に開催する第4回函館コレクションのモデルを募集中である。募集開始が夏休みにかかり、学校への周知が進んでおらず、応募の数が足りていない。委員の皆さんも応募・周知についてお願いしたい。 ジェンダーギャップ解消プロジェクトに対して、モヤモヤしている。市の目指すところは分かるが、ワークショップの対象となっている大学生や高校生の子たちは、未来に夢を見られるような子たちだと思うが、女性会議で毎月1回行っている「ここみカフェ」という無料で昼食を提供する取り組みで、そこに来てくれる子ども達の話の聞くと、大変苦勞しており、学校にいけないでいる子もいる。ジェンダーギャップ解消プロジェクトもいいが、そういった現実と直面している子どもたちの声も聞いていただきたい、考慮していただきたいと思っている。
池田会長	予定の時間になったのでこれで会議を終了したい。
4 閉会	
事務局	【閉会】

閉会（19：10）